

大分県・熊本県のご家庭向けに
「まるごと再エネプラン－県営水カププレミアム－」
の提供を開始します

2026年3月31日
九州電力株式会社

はじめに

1

このたび、当社は次の2つのプランを創設します。

両プランは、大分県・熊本県の水力発電所由来の環境価値を活用して、再エネ100%のCO₂フリー電気をお届けするものです。

- ・ まるごと再エネプラン－大分県営水カププレミアム－
- ・ まるごと再エネプラン－熊本県営水カププレミアム－

＜対象のお客さま＞

| | まるごと再エネプラン – 大分県営水カプレミアム – | まるごと再エネプラン – 熊本県営水カプレミアム – |
|----|------------------------------|------------------------------|
| 対象 | 大分県のご家庭で、下記の対象料金プランにご加入のお客さま | 熊本県のご家庭で、下記の対象料金プランにご加入のお客さま |

[対象料金プラン]

- ・ スマートファミリープラン
- ・ JALでんき
- ・ おひさま昼トクプラン
- ・ 時間帯別電灯
- ・ スマートビジネスプラン
- ・ 電化でナイト・セレクト
- ・ 季特別電灯
- ・ ピークシフト電灯

※ 現在、「従量電灯B・C」をご契約のお客さまも、対象料金プランへ切り替えていただくことでご加入いただけます。

(注) 「従量電灯B・C」には燃料費調整に上限がある一方、対象料金プランには上限がないため、燃料価格が高騰した場合には、対象料金プランの方が燃料費調整額が高くなる可能性があります。

そのため、お客さまのご契約状況や電気ご使用量等によっては、対象料金プランの方が「従量電灯B・C」より電気料金が高くなる場合があります。

※ 季特別電灯、時間帯別電灯、ピークシフト電灯については、新規加入を停止しています。

※ 原則として、ご契約容量が10kVA（電化でナイト・セレクト、おひさま昼トクプランの場合は契約電力10kW）以下のお客さまが対象です。（10kVAを超えるご家庭のお客さまはご相談ください。）

＜お客さまメリット＞

- ・ お客さまがご使用になる電気がまるごと再エネ100%のCO₂フリー電気になります。その際、当社が調達する水力・地熱等の再エネ発電所由来の電気と**大分県もしくは熊本県が所有する水力発電所由来の非化石証書**を活用してお届けします。
- ・ 現行の「まるごと再エネプラン」と料金は変わらないまま、「月額500円（税込）」で、大分県もしくは熊本県が所有する水力発電所を応援することができます。



北川ダム（大分県）



緑川第三発電所（熊本県）

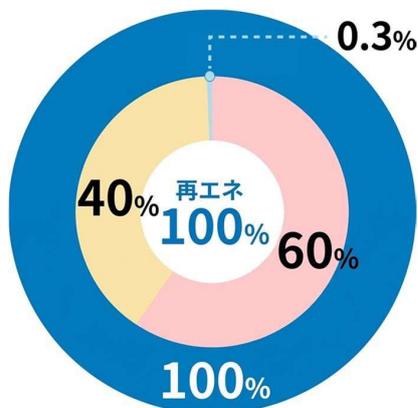
(参考)

現行の「まるごと再エネプラン」も、再エネ発電所由来の電気と非化石証書を活用してお届けしていますが、特定の発電所由来の非化石証書を指定することはできません。

＜電源構成・非化石証書の使用状況＞

[大分県営水カプレミアム]

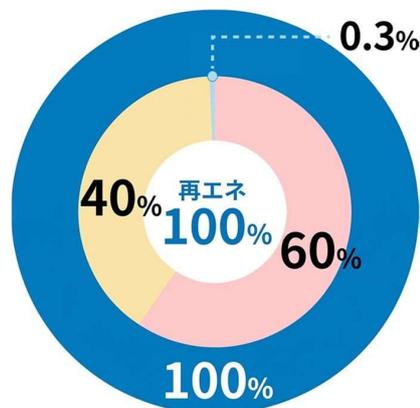
2026年度計画供給量
 (内側円：電源構成、外側円：非化石証書)



- 水力発電所（出力3万kW以上）により発電される電気
- 水力発電所（出力3万kW未満のもの）により発電される電気
- 地熱発電所により発電される電気
- 大分県が所有する水力発電所由来の非化石証書（再エネ指定）

[熊本県営水カプレミアム]

2026年度計画供給量
 (内側円：電源構成、外側円：非化石証書)



- 水力発電所（出力3万kW以上）により発電される電気
- 水力発電所（出力3万kW未満のもの）により発電される電気
- 地熱発電所により発電される電気
- 熊本県が所有する水力発電所由来の非化石証書（再エネ指定）

＜適用期間＞

- 大分県営水カプレミアム：受付直後の検針日～2028年3月の検針日の前日
- 熊本県営水カプレミアム：受付直後の検針日～2029年3月の検針日の前日

※各県と締結している電力受給契約の契約期間に基づいて設定しています。

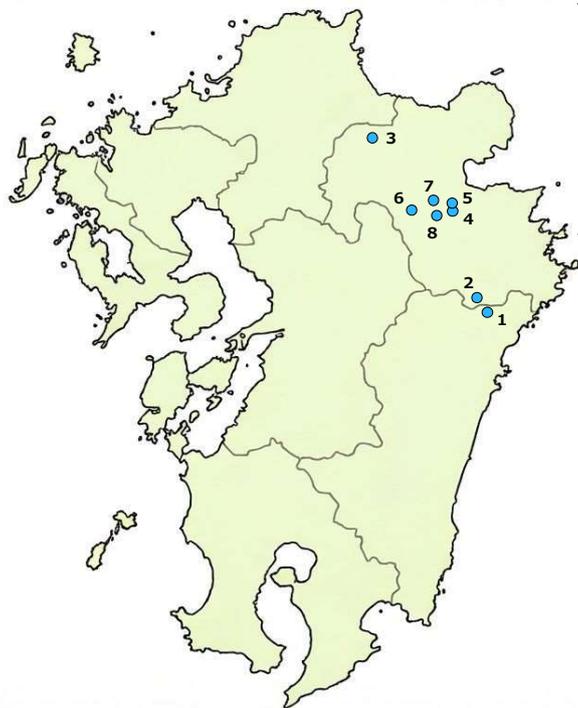
申込方法

2026年4月1日より、当社ホームページからお申込みいただけます。

[当社ホームページ]

<https://customer.kyuden.co.jp/ja/electricity/home-plan/eco-plan.html>

- 当社は、大分県企業局が実施したプロポーザル方式の公募の結果、「大分県営北川発電所など5水力発電所の売電」および「大分県営鳴子川発電所など3水力発電所の売電」を落札し、大分県と電力受給契約（当社買い、大分県売り）を締結しています。



<電力受給契約の内容>

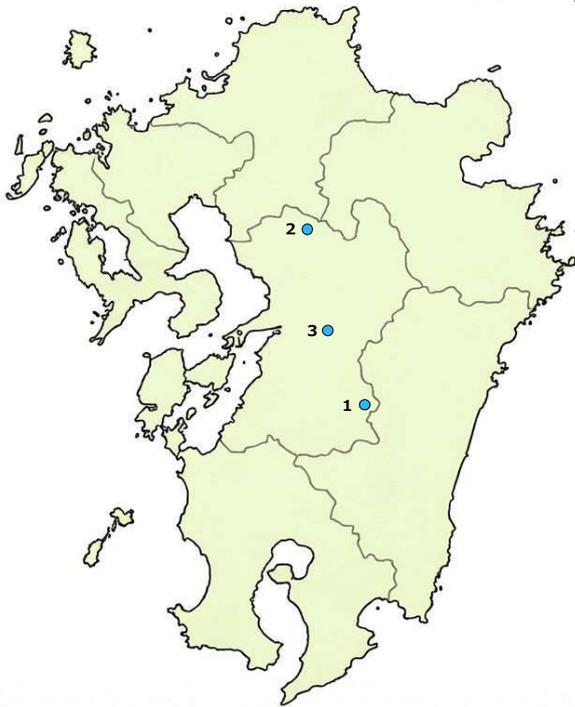
| | |
|-------------------|----------------------|
| 期間 | 2026年4月1日～2028年3月31日 |
| 総最大出力 | 54,580kW |
| 予定電力量 (2026年度) | 81,320MWh |

<各発電所の詳細>

| | 発電所名 | 出力 (kW) | 所在地 |
|---|---------|------------|----------------|
| 1 | 北川発電所 | 25,100 | 宮崎県延岡市北川町川内名 |
| 2 | 桑原発電所 | 2,800 | 大分県佐伯市宇目大字南田原 |
| 3 | 耶馬溪発電所 | 1,700 | 大分県中津市耶馬溪町大字大島 |
| 4 | 芹川第一発電所 | 11,000 | 大分県由布市庄内町五ヶ瀬 |
| 5 | 芹川第二発電所 | 10,400 | 大分県由布市庄内町竜原 |
| 6 | 鳴子川発電所 | 1,400 | 大分県玖珠郡九重町大字田野 |
| 7 | 花合野川発電所 | 680 | 大分県由布市湯布院町下湯平 |
| 8 | 阿蘇野川発電所 | 1,500 | 大分県由布市庄内町阿蘇野 |

| 発電所 | 北川発電所 | 耶馬溪発電所 | 鳴子川発電所 |
|------|--|--|---|
| 発電所 |  |  |  |
| 運開年 | 1962年 | 1984年 | 1986年 |
| 最大出力 | 25,100kW | 1,700kW | 1,400kW |
| 概要 | 洪水調整と発電を行うことを目的とした北川総合開発事業の一環として建設された、大分県企業局で最大の発電所となります。 2005年にはダム水源地環境整備センターの選定するダム湖百選に北川ダムが選ばれました。 | 県北を流域とする山国川総合開発の一環として、建設省（現国土交通省）が山国川支流の山移川に建設した耶馬溪ダムの水を利用して発電しています。 | 国の石油代替エネルギー開発促進施策に呼応して建設された発電所で、筑後川水系鳴子川、白水川から取水して発電を行っています。 |

- 当社は、熊本県企業局が実施したプロポーザル方式の公募の結果、「熊本県営笠振発電所他2発電所の電力売却」を落札し、熊本県と電力受給契約（当社買い、熊本県売り）を締結しています。



<電力受給契約の内容>

| | |
|-------------------|----------------------|
| 期間 | 2026年4月1日～2029年3月31日 |
| 総最大出力 | 2,200kW |
| 予定電力量 (2026年度) | 7,920MWh |

<各発電所の詳細>

| | 発電所名 | 出力 (kW) | 所在地 |
|---|---------|------------|-------------------|
| 1 | 笠振発電所 | 1,100 | 熊本県球磨郡水上村大字湯山字上笠振 |
| 2 | 菊鹿発電所 | 560 | 熊本県山鹿市菊鹿町矢谷 |
| 3 | 緑川第三発電所 | 540 | 熊本県下益城郡美里町涌井字折立 |

| | 笠振発電所 | 菊鹿発電所 | 緑川第三発電所 |
|------|---|--|---|
| 発電所 |  |  |  |
| 運開年 | 1996年 | 2000年 | 2001年 |
| 最大出力 | 1,100kW | 560kW | 540kW |
| 概要 | 200m以上の高落差を利用する発電所で、熊本県が所有する水力発電所で唯一、ペルトン水車※を使用しています。 | 旧内田電気事業組合所有の老朽化した深瀬発電所を熊本県が買収し、再開発した発電所です。 | 船津ダムの河川維持放流水を有効活用する目的で建設された発電所です。 |

※ 水の速度のみを利用する水車で、落差の大きい発電所に用いられる